

平成23年行政事業レビューシート (外務省)

事業名	国際連合薬物犯罪事務所(UNODC)拠出金 (任意拠出金)		担当部局庁	総合外交政策局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成20年度開始		担当課室	国際安全・治安対策協力室 海上安全保障政策室長		室長 岡島 洋之 室長 瀬尾 正嗣		
会計区分	一般会計		施策名	VII-1 国際機関を通じた政務及び安全保障分野に係る国際貢献 VII-3 国際機関を通じた地球規模の諸問題に係る国際貢献				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	外務省設置法第4条第3項 外務省組織令第32条 外務省組織規則第12条		関係する計画、通知等	ソマリア沖海賊対策に関するコンタクト・グループ会合第4回及び第5回本会合、国連総会決議(第25回(2719(1970年)), 第45回(45/179(1990年)), 第46回(46/152(1991年)), 第52回(52/220(1997年)), 第58回(58/140(2003年))), 「第52回国連麻薬委員会ハイレベル会合政治宣言・行動計画」				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	<ul style="list-style-type: none"> ・国連薬物犯罪事務所(UNODC)により管理され、国際的な薬物対策、薬物統制を推進・支援することを目的とする薬物統制計画基金に対して拠出を行い、アフガニスタンからの麻薬の流出を阻止するとともに、不正取引から得られた利益がテロ及び他の犯罪活動に使われることを防ぎ、アフガニスタンの治安向上を図る。 ・同様にUNODCにより管理される犯罪防止刑事司法基金のテロ防止部へ拠出を行い、我が国の国益にも密接に影響するアフガニスタンにおけるテロ対策法制整備の促進等を図る。 ・ソマリア沖の海賊対策は国際的な課題であると同時に我が国国民の生命財産の保護という観点からもきわめて重要であるため、ソマリア周辺国における海賊訴追費用を支援することで、ソマリア周辺諸国(ケニア、イエメン等)海賊を訴追する際に、被疑者の拘束・移送費用や訴追に必要な費用を支援し、経済的負担を軽減する。 							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	<ul style="list-style-type: none"> ・アフガニスタン及び周辺国において、警察の麻薬取締能力向上、汚職防止、刑務所施設の改善を含む法執行機関の能力強化プロジェクトを実施し、刑事司法制度の改善を図るとともに、代替作物開発や麻薬患者対策を含む総合的な薬物対策を実施。 ・国際テロ情勢に重要な影響を与えているアフガニスタンにおけるテロ対策能力向上のため、アフガニスタン及び周辺国における法執行関係者への訓練等を実施。 ・ソマリア沖海賊対策については、基金の管理をUNODCが行っており、理事国会合によって、事務局であるUNODCがとりまとめる支援対象案件に対する支援の可否判断を決定している。我が国からの拠出金は、海賊の移送収監を行うための制度の整備などに充当された。 							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input checked="" type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)			20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
	予算 の 状 況	当初予算	0	0	0	124	99	
		補正予算	339	773	917	—		
		繰越し等	—	—	—	—		
	計		339	773	917	124	99	
	執行額		339	773	917			
執行率(%)		100.0	100.0	100.0				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (年度)
	アフガニスタン及びその周辺国の麻薬対策能力の向上、国境管理の強化、法制度整備の進展。成果は単一指標では困難だが、アフガニスタンにおけるケシの栽培面積を一つの参考指標とする(但し暦年統計)。		成果実績	ヘクタール	157,000	123,000	123,000	—
			達成度	%				
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	我が国拠出金を使って、アフガニスタン及びその周辺国の薬物対策、国境管理、法制度整備、テロ対策支援及びソマリア海賊訴追を進め海賊行為の抑止を目指すために実施が計画されたプロジェクト数		活動実績 (当初見込み)	件	4	16	12	—
						()	()	()
単位当たりコスト	案件毎に実施経費総額が異なり、また海賊訴追関係のプロジェクトなど継続中のプロジェクトが多いため、現時点での、単位あたりのコストの計算は困難である。		算出根拠					
平成23・24年度予算内訳 (単位:千円)	費目		23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由			
	拠出金		123,988	99,469	拠出額減額			
	計		123,988	99,469				

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	—	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	○	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	平成20年度、21年度に引き続き、アフガニスタンの治安改善に係る国際的努力を支援するための麻薬対策及びテロ対策の案件を実施。これらの成果は我が国の治安にも影響をもたらすものであることから、今後も薬物・テロ対策において必要性の高い案件実施のため努力する。ソマリア沖海賊対策に係る国際的努力を支援するために海賊訴追に関する案件への支援を実施。海賊訴追の確実な実施による海賊の抑止は、国際通商路の安全確保につながり、貿易国かつ海運国である我が国にとり絶大な効果が得られ、今後も海賊訴追費用の支援実施のため努力する。		
予算監視・効率化チームの所見			
抜本的改善		拠出額減額	
	上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)		
縮減(拠出額減額)			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			